

第4章 閉会の挨拶

副所長 三宅 光一

4 『閉会の挨拶』

(国土技術政策総合研究所 副所長 三宅 光一)

副所長の三宅でございます。

今日は、年末の大変お忙しい中、この国総研講演会にお集まりいただき、また朝から夕方遅くまで長時間ご聴講頂きありがとうございました。

今回は3つのテーマということで、防災・減災対応、インフラの維持管理、生産性の向上という、私どもインフラにかかわる者として、今最もホットな話題を取り上げました。

特に生産性の部分では、今回、座談会という初めての方式をとらせていただきましたけれども、いかがでしたでしょうか。皆様からいろいろご意見をいただければと思います。

そしてこの生産性革命に関しましては、藤沢先生から大変すばらしいお話を頂きました。当初想像していた以上の中身の濃いお話で、私自身、メモをとらなくていいかなと思っていたら、結構メモをとってしまいました。私どもにとって非常に示唆に富む考え方・捉え方、広い立場でのお話を聞けたかなと思います。

藤沢先生は、3,000社以上にわたる会社にヒアリング、インタビューされたといっておられましたけれども、やはりそういう対話が非常に大事で、私たちの視野を広げていく重要な鍵であるとあらためて思いました。特に自分の分野、技術分野でないところの人たちとのかわりには非常に重要です。まさにこうした場もアンテナを立てる場として重要なのではないかと思います。

この国総研講演会、だいたいいつもそうなのですが、一方通行なので皆さまちょっとフラストレーションがたまっているかもしれません。本日の内容につきましては、ぜひ早目にフィードバックして頂く、あるいは意見交換をさせて頂く機会があれば幸いに存じます。現場のフィードバックは国総研にとって極めて重要かつ革心です。現場でご苦労いただいている皆様方からの様々なご提案、ご示唆は私どもにとって非常に大切です。ぜひそういった対話を皆様と続けながら、国総研としてもこれから頑張っ参りたいと思います。

最後になりましたけれども、皆さま、健康で明るい、新しい年を迎えられますようご祈念申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

—了—